

広報 春日井

2010
No.1436
平成22年

2/
1

特集

春日井の魅力シリーズvol.2

春日井のサボテン

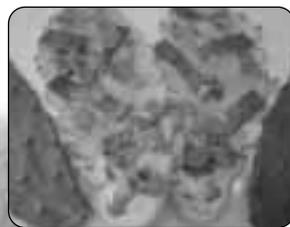
- 8 所得税の確定申告と市・県民税の申告の受け付けが始まります
- 9 かすがいDo!スポーツフェスタ
- 10 有料広告を募集します
- 11 Photo ホット ほっと

- 12 情報最前線
- 13 各種お知らせ
- 22 まちの伝言板など
- 23 緊急医など



新春恒例の市消防出初式で、仲良く「防火の誓い」の唱和を披露してくれたのは、幼年消防クラブの児童たち。みんなの元気な声を聞いて、式に参加された皆さんも、安全・安心なまちをつくる気持ちを新たにしました。

春日井の魅力シリーズvol.2



春日井のサボテン



～9軒が支える日本一とサボテンプロジェクト～



実生栽培日本一を誇る春日井のサボテン。このサボテンを地域活性化の起爆剤にしようと商工会議所や市、サボテン生産組合そして商工業者が一体となって、サボテンプロジェクトを立ち上げ、特産品などの開発やキャラクターの普及など、サボテンの魅力を全国に発信しようと多くの取り組みを進めています。こうした活動が実を結び、最近新聞やテレビで取り上げられ、ますます脚光を浴びています。そこで今回は、春日井のサボテンについてお知らせします。

サボテンってこんな植物

サボテンはサボテン科に属する植物の総称です。南北アメリカ大陸の熱帯乾燥地帯を原産とするものが多く、234属3000種を超える種類があります。学問上、木の葉サボテン、ウチワサボテン、柱サボテンに大別され、葉状柱サボテン、毛柱サボテン、玉形サボテンは、柱サボテンの中に含まれます。愛好家に人気があるのは、玉形サボテンで、種類の豊富さ、色彩や形の変化は群を抜いて面白く、さまざまなコレクションが楽しまれています。

300年以上前に日本へ

サボテンが日本に伝わったのは、約300年以上前の江戸時代。元禄元年(1688年)貝原益軒の「和爾雅」に記載されたのが、一番古い記録として残っています。当時は大変高価なものだったようで、江戸時代の川柳に「サボテンを買って女房にしかられる」と詠まれたほどでした。その後も明治、大正、昭和初期にかけて高級園芸品として人気がありました。



実生栽培日本一のまちへ ～大量生産に取り組んだ先駆者たち

サボテンと言えば、水がなくて暑い砂漠に生えているイメージがありますが、なぜ春日井は実生栽培が盛んになったのでしょうか？それにはサボテンに情熱を注いだ人たちの粘り強い努力と工夫がありました。

桃山でサボテンを

桃山町はその名のとおりに、昔からモモやリンゴなどの果樹の栽培が盛んな地域でした。その桃山町でサボテンを栽培しようとした人がいました。伊藤龍次さんと関戸貫一さんです。

きっかけは昭和28年ごろ、伊藤さんが見た緋牡丹(ひぼたん)という真っ赤なサボテン。その美しさに魅せられた伊藤さんは、果樹を育てる傍ら副業でサボテンの栽培ができないかと考え、近所の関戸さんに声を掛けて一緒に小牧のサボテン園に行き、種を分けてもらい、育てたことが始まりでした。



緋牡丹

始めは芽が出ず失敗続き

当時、実生栽培は種の消毒に手間がかかるため大量生産には向いていませんでした。

2人は外国から高価な種を輸入しては栽培方法を研究しました。当初は種をまいても発芽しないことが多く、どこがいけなかったかと悩んでいましたが、実は種自体が古くて不良品だったということもありました。しかし、あきらめず何度も種を発注したことで次第にきちんとした種が届くようになり、徐々に生産を整えられるようになりました。

伊勢湾台風が転機に

そして、昭和34年に起きた伊勢湾台風。東海地方を襲ったこの超大型台風により、果樹はほとんど全滅状態になってしまいました。

折しも実生栽培にめどが立ってきた2人は、思い切って果樹からサボテンに転換することを決意。その後、関戸さんが消毒せずに大量生産する画期的な方法に成功すると、昭和40年ごろから起きたサボテンブームで一気に軌道に乗りました。

委託生産システムを確立

最盛期には約50軒の栽培農家があった桃山町。発展の背景には分業による委託生産システムを確立したことにありました。

分業制にしたことで、伊勢湾台風によって倒れた果樹が戻るまでの副業として周囲の農家もサボテン栽培に参加し、桃山町は一気にサボテン生産地となり、全国から仲買人が集まる実生栽培日本一のまちとして知られるようになりました。

実生栽培の委託生産システム

第1次生産農家



種から発芽させ約6か月程度育苗し、1cm程度の幼苗にする。

委託関係

第2次生産農家



幼苗を1～1年半かけて直径3～5cm程度に育苗し、第1次生産農家へ戻す。

全国の生産地、市場



日本一を支える9軒

現在、春日井でサボテンを生産している農家は9軒。かつての分業体制から、個々で取引を行っているところがほとんどになりました。今回、各農家にインタビューし、現状について聞いてみました。



ブームが落ち着いて

国内で過剰供給気味となったことや円高で輸出量が減少し、昭和45年から57年にかけて農家の数が減少しました。昭和58年ごろに再びサボテンブームを迎えましたが、平成2年以後、出荷量は減少しています。

出荷量が減少した理由としては、企業が运动会などの景品としてミニサボテンを大量購入してくれていたが買わなくなった、円高と安価な外国製サボテンの台頭により輸出が振るわなくなったという意見がありました。

量、種類は減ったが

最盛期に比べ、量、種類ともかなり減っていて、ある農家は出荷量が3分の1に、種類も200種類以上あったものが100種類程度に落ち込んでしまったとのことでした。

しかし、春日井以外で実生栽培をしているのは千葉県に1軒あるのみで、春日井が市場の実生苗をほぼ独占している状況なので、現在も実生栽培日本一を維持しているというのが皆さんの共通認識でした。

食用サボテンへの期待

近年、食用となるウチワサボテンを使った商品が出てきていることについてはどう考えているか聞いてみると、食用が話題になれば、観賞用にも目を向けるよいきっかけになるのではと期待しているようでした。

後継者が話す実生栽培の未来

父親の仕事を手伝うようになって10年になります。今後も観賞用サボテンには一定量の需要が見込めるため、父の後を継いで仕事を続けていくつもりですが、今の状況では新たな生産者は増えてこないと思います。

今後は、より付加価値の高い希少種や食用サボテンなど新たな需要を掘り起こしていきたいと思います。



安田和幸さん

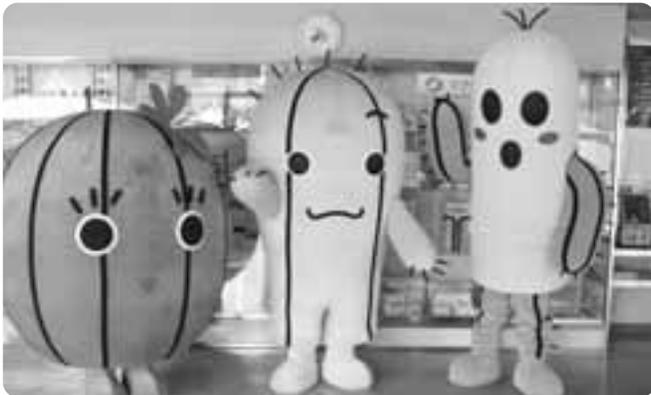
春日井サボテンを地域ブランドに ～サボテンプロジェクトの挑戦

実生栽培日本一を生かし、サボテンによる地域活性化と地域ブランドの構築を目指し、平成18年2月に立ち上げたサボテンプロジェクト。市は商工会議所やサボテン生産組合、市内の商工業者と協力し、食品などの特産品の開発と地域PRの双方を一体に進めて「春日井サボテン」のブランド化に取り組んでいます。キーワードは「癒しと健康」。サボテンの魅力新しい切り口から見いだそうと奮闘しています。

サボテンキャラクター、活躍中

サボテンプロジェクトでは、改めてサボテンのことを知ってもらおうとサボテンイメージキャラクターを作成。公募により「春代(はるよ)」「日丸(にちまる)」「井之介(いのすけ)」と名付けられた3体のキャラクターは、愛らしい姿でプロモーション映像やノベルティーグッズ、着ぐるみなどさまざまな手段でサボテンをPRしています。

また、プロジェクトに賛同した地元のシンガーソングライターによるPRソング「サボテン大好き」もできました。



サボテンキャラクター(左から春代、日丸、井之介)

サボテンを身近に

また、サボテンに関心を持ってもらえるよう、春には「サボテンフェア」を、秋には春日井まつりでの「パルケdeサボテン」を開催するほか、市内で行われるスポーツ大会などのイベントにも積極的に出展しています。ほかにも、サボテンプロジェクトの専用ホームページや携帯サイトを作成。携帯サイトから“サボテンサポーター(メール会員)”に登録した人に、イベントや新商品の情報を配信しています。



▼QRコード



■春日井サボテンプロジェクトホームページ <http://www.kcci.or.jp/saboten-pj/>

■春日井サボテンプロジェクト携帯サイト <http://www.ad-future.info/~saboten/>

「春日井サボテン」誕生

プロジェクトの目玉として取り組んだのは食用サボテンによる特産品の開発。メキシコでは一般的に食べられているウチワサボテン(バーバンク)を「春日井サボテン」と位置づけ、成分分析や商品化のためのレシピの開発に取り組みました。また、学校給食にサボテンを使った献立を取り入れ、生産者と一緒に食べる地産地消給食も行い、児童たちにもサボテンの味を知る機会を作っています。

高い栄養価

成分分析では、さまざまな栄養素がある緑黄色野菜と果物の両方の栄養素を持つ健康食品であることが分かっています。

また、名城大学に機能分析を依頼し、体にどのような効用があるかについても調べています。

緑黄色野菜と果物の栄養素を持つ春日井サボテン

β-カロチン…トマト並みの550μg
カルシウム…小松菜並みの170mg
マグネシウム…オクラ並みの56mg
有機酸総量…ミカン並みの0.8g
食物繊維量…ハクサイ並みの1.4g
※いずれも100g当たり(県産業技術研究所 食品工業技術センター分析)



たゆまぬ商品開発が生み出した多彩な商品

商工業者も、地元の食材である春日井サボテンを使った商品開発に取り組んでいます。

まず、市内の飲食店を対象に春日井サボテンの取り扱いの勉強会を実施。粘りと少し酸味のあるサボテンの特徴を生かした、ラーメンやスープなどの料理が商品化されました。次に、保存が効いて使いやすいペースト状や粉末にすることで、きしめんやパンなどの加工食品にも範囲が広がり、現在31店舗でサボテン関連商品を販売するようになりました。さらなる商品開発のため、市内の飲食店が試作品を持ち寄り、互いに見せ合う勉強会を行うなど活発な動きを見せています。

最近では、プロジェクトでインスタントラーメンやビール（発泡酒）の開発に着手し、販売に向けて準備を進めており、新たな市場の開拓を狙っています。



粉末化したサボテン



販売に向けて準備が進むビール

市内で食べることのできるサボテン商品一覧（1月1日現在）

※営業時間などの詳細は各店舗に確認してください。また、季節により取り扱っていない場合があります

小売品		料理	
商品名	取り扱い店舗	商品名	取り扱い店舗
サボテンのアイス★	水徳 (八光町1、☎31-2043)	サボテンラーメン など	中華料理 四川 (東野町4、☎84-8359)
サボテンういろ★	御菓子所 白川園 (勝川新町2、☎33-0428)	手づくりサボテンチーズ など	カフェ 百時 (鳥居松町6、☎81-0640)
サボテンくん★	御菓子処 美濃屋 (大和通2、☎31-2205)	サボテンハンバーグ	洋食ダイニングOGATSHI (瑞穂通4、☎84-7625)
サボ、めん★	田中食品製麺 (弥生町2、☎81-3811)	サボテンうどんの冷やし付け麺	めん処 まるとや (中央通2、☎81-2937)
サボテン餅	松の家 道宗 (松本町、☎51-0411)	サボテン焼き など	やきとり大吉 春日井店 (柏井町5、☎84-8293)
サボテンきしめん など★	アイシン食品 (中切町、☎81-7375)	サボマの味噌串カツ	Kushiage 94 (坂下町1、☎88-6600)
サボテンきしめん・そば★	川辺商店 (角崎町、☎31-2223)	サボテンの出し巻きたまご	くつろぎ空間 わしょく屋 (出川町8、☎52-2223)
サボテンキムチ	サボテンキムチ本舗 (大手町2、☎85-5487)	蒸し鶏とサボテンのキャベツ巻き	中国料理 天山 (惣中町2、☎32-3991)
サボこん★	みそおでん もん吉 (八田町5、☎56-7283)	サボテンチャンプル	旬彩工房 やまもと (上野町、☎88-6626)
さぼれ一ぬ	洋菓子ポワロン (東野町3、☎83-6167)	サボテンロール春日井捲 など	中華菜家 うえいうえい (柏原町5、☎81-3989)
サボテンのミニメロンパン	モンシエル (八光町1、☎31-2104)	サボテンとマグロのはさみカツ	まごころ厨房&BAR V-HANDS (柏原町1、☎33-7586)
ノパールピザ など	ボンパナ春日井店 (六軒屋町1、☎87-4343)	サボテンと海水晶のサラダ	和み鉄板酒屋 鉄飯's (鳥居松町2、☎87-3701)
さぼてンドレッシング	和み折衷処 春日亭 (鳥居松町5、☎84-5996)	サボテン・ジャンバラヤ	カントリーキッチン (勝川町8、☎33-3345)
サボテン水まんじゅう	陶勝軒本舗 (八幡町、☎32-9233)	サボテンスタミナラーメン	山汁らーめん (東野町2)
のどに刺さらない サボテンのど飴★	こだわり商店 (旭町1、☎29-7830)	サボテンざるきしめん	手打ちうどん 初海家 (小野町6、☎84-1919)
★印のある商品はこだわり商店でも取り扱っています。		鯖のサボテン巻きサボテンソース	寿し兵衛 (東野町西3、☎83-5970)

サボテンアンテナショップ 「こだわり商店」から見た 春日井サボテン

昨年9月19日に勝川大弘法通り商店街の一角に開店したこだわり商店。市内の各店舗で売られているサボテン関連商品約20種類を展示・販売するアンテナショップで、店舗の奥にはサボテンの研究開発をするラボも併設しています。店長の出口美紀さんに春日井サボテンは消費者にどう受け止められているか聞きました。

サボテン関連商品で地域交流を

開店から2か月以上がたち、サボテンに対する期待感の高まりに手ごたえを感じています。来ていただくのは市内の方がほとんどで、皆さんから「ぜひ春日井の名産を育ててほしい」と激励をいただき感謝しています。売れ筋はういろう、アイスクリーム、こんにゃく、のどあめで、季節がらきしめんなどめん類も人気があります。

サボテンの特長をPRし、全国から「春日井はサボテン」と言われるような地域特産品として定着するように、皆さんに愛されるような商品の開発が大切だと思っています。

沖縄、長野などの特産品も扱っていますが、いずれはサボテン関連商品が地域交流の一品として全国に発信できるようにしていきたいと思っています。



所在地：旭町1-12コーポ
ノザキNO3 1F
営業時間：月～金曜日午前
10時～午後7時
(木曜日定休)
問い合わせ：☎29-7830

安定供給と後継者育成を目指して 春日井サボテンプランテーション計画

春日井サボテンの今後の課題は、安定した原料の供給を確保することです。現在、春日井サボテンは各サボテン農家に委託していますが、少量生産にとどまっています。さらに、店舗からは味が均一化したものを提供してほしいとの要望があるため、品質保持の技術も必要になっています。

プロジェクトでは、安定した春日井サボテンの生産を目指し土地を借りて、プランテーション化することを計画し、名城大学に生産技術の研究を依頼しています。プランテーションには、生産の安定以外にもサボテンの生産者を増やしたいという狙いもあります。

また、プランテーションにより、サボテン商品が市内外で春日井の特産品として広がっていき、観賞用サボテンにも波及していけばいいと考えています。

全国進出に向けて

商工会議所は、2月2日から5日にかけて東京ビックサイトで行われるTokyo International GIFT SHOWにサボテン関連商品のブースを出展します。会場で春日井サボテンのPRを行うことで、全国進出に向けた足掛かりになればと考えています。

将来、春日井サボテンが全国に普及することを夢見て、これからもプロジェクトを推進していきます。

皆さんも、春日井サボテンを味わってみませんか。

問い合わせ ▶ 春日井商工会議所内サボテンプロジェクト事務局 (☎81-4141)

2月16(火)
～3月15日(月)

所得税の確定申告と市・県民税の申告の受け付けが始まります

【春日井会場】

と き▶2月16日(火)～ 3月15日(月)午前9時
～午後4時(土・日曜日を除く)
ところ▶グリーンパレス春日井 ※はあとふる
ライナー(東環状線)など公共交通
機関を利用してください

【小牧会場】

と き▶2月16日(火)～ 3月15日(月)午前9時～午後5
時(土・日曜日を除く。ただし、2月21日(日)・
28日(日)は開設)
ところ▶小牧市公民館 ※昨年の会場から、おととしま
での会場に戻りましたので注意してください

2月15日(月)からは先行して還付申告を行っています。また、いずれも来場者の状況により、早めに会場を締め切ることがあります。会場の地図などは1月15日号の広報春日井を見てください。

所得税の確定申告が必要な人

- 事業や不動産もしくは年金の収入がある人、土地や建物を売った人などで、平成21年中の所得の合計額から所得控除の合計額を差し引き、その金額を基に算出した税額が配当控除額を超える人
- 平成21年中の給与収入金額が2000万円を超える人
- 給与所得や退職所得以外の所得の合計額が20万円を超える人
- 2か所以上から給与などの支払いを受けている人(ただし、年末調整を受けていない給与収入が20万円以下の場合には不要)

所得税の確定申告に必要な物

印鑑(認め印可)、筆記用具、給与所得・公的年金等の源泉徴収票(原本)、社会保険料(国民年金保険料)控除証明書、生命保険料・地震保険料などの支払証明書、支払った医療費の領収書など
※申告書は会場に用意。事業所得や不動産所得がある人は、収支内訳書か青色申告決算書の添付が必要

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用すると、簡単に確定申告書を作成できますので、活用してください
国税庁ホームページ <http://www.nta.go.jp/>

上場株式などに係る配当所得について

平成21年1月1日から23年12月31日までの間に支払いを受けるべき上場株式などの配当など(一定の大口株主などが受けるものを除く)については、7%(ほかに住民税が3%)の税率による申告分離課税を選択できます。

申告をする上場株式などの配当所得については、その全額について、総合課税か申告分離課税かを統一しなければなりません。

	確定申告をする		確定申告 不要制度 適用
	総合課税	申告分離 課 税	
配当控除	あり	なし	なし
上場株式などの 譲渡損失との 損益通算	なし	あり	なし
扶養控除 などの判定	合計所得 金額に含 まれる	合計所得 金額に含 まれる	合計所得 金額に含 まれない

※詳しくは国税庁ホームページを見てください
<http://www.nta.go.jp/taxanswer/shotoku/1331.htm>

市・県民税の申告が必要な人

- 平成22年1月1日現在、市内に住所があり、平成21年中に所得があった人。ただし、次の人は市・県民税の申告の必要はありません。
- 平成21年分の所得税の確定申告(還付申告を含む)をした人
 - 所得が給与所得だけで、勤務先などから市へ給与支払報告書が提出されている人
 - 所得が公的年金等だけで、次の条件にあてはまる人
 - ・昭和20年1月1日以前生まれで、公的年金の収入が152万円以下の人
 - ・昭和20年1月2日以後生まれで、公的年金の収入が102万円以下の人

年金と申告

年金受給者で源泉徴収されていない人でも、所得税と市・県民税の所得控除の差により市・県民税のみ課税される場合があります。市・県民税の控除の申告により減額できる場合がありますので、市・県民税の申告をしてください。

問い合わせ▶市・県民税の申告…市民税課(☎85-6093)、所得税の確定申告…小牧税務署(☎72-2111)

かすがい Do! スポーツフェスタ

日ごろ、総合体育館・サンフロッグ春日井を利用していただいている市民の皆さんへ、感謝の意味を込めて施設の無料開放をします。家族や友達と楽しめるイベントがたくさんありますので、ぜひ参加してください。

とき 3月6日(土)午前9時～午後9時30分

ところ 総合体育館、サンフロッグ春日井

総合体育館(☎84-7101)

卓球体験コーナー

時 間▶午前9時～午後9時30分

フィットネス体験コーナー

時 間▶①脂肪燃焼エアロ…午前9時15分～10時15分②ソフトエアロ…午前10時45分～11時45分③ヨガ…午後1時30分～2時30分
定 員▶各50人(先着順、①は午前8時30分から、②③は開始1時間前より受け付け)

ふれあいステージ(事前申し込み)

時 間▶午前10時～11時20分
内 容▶○ピエロによるパフォーマンスショー
○パパイヤ鈴木が親子で踊れるダンスをレクチャー!参加者全員で一体となって楽しく踊ろう!

定 員▶1500人(抽選) ※小学生以下は保護者同伴

申し込み▶2月20日(土)〈必着〉までに、往復はがきに「ふれあいステージ」、住所、参加者全員の氏名、年齢、性別、電話番号、市外在住の人は勤務先か学校名、園名を書いて、〒486-0804鷹来町4196-3、総合体育館へ



キッズコーナー

時 間▶正午～午後4時
内 容▶ふわふわで遊ぼう

バドミントン体験コーナー

時 間▶午後1時～6時

ピエロによるパフォーマンスショー

時 間▶午後1時30分～2時30分
内 容▶ジャグリングやバルーンアートなど

サンフロッグ春日井(☎56-2277)

トレーニング室開放

時 間▶午前9時～午後9時30分
対 象▶中学生以上の人(中学生の利用は保護者同伴(保護者1人につき2人まで)が必要)

健康チェックコーナー

時 間▶午前10時～午後4時
内 容▶筋肉量、血管年齢、超音波による体脂肪などの測定

温水プール開放

時 間▶午前10時～午後8時30分

水泳ワンポイントアドバイス(事前申し込み)

時 間▶①午前10時～10時45分②午前11時～11時45分
内 容▶4泳法の中で希望の種目1種目についてアドバイスをする
定員・対象▶市内在住か在学の小学生・各20人(各泳法5人)〈先着順〉
申し込み▶2月6日(土)午前9時から、電話で

赤十字 水難事故の救助法体験

時 間▶午後2時～4時
内 容▶身近にあるものを使った救助方法や救助を待つ方法を学ぶ

赤十字 心肺蘇生(そせい)法体験

時 間▶午後2時～4時
内 容▶AED(自動体外式除細動器)を使った蘇生法を体験する



お願い

- 体育館およびトレーニング室を利用する人は、上靴を用意してください。
- プールを利用する人は、水泳帽が必要です。おむつやトレーニングパンツ着用の方は入場できません。